



KIKIGAKI



発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2021

https://www.kikigaki.net

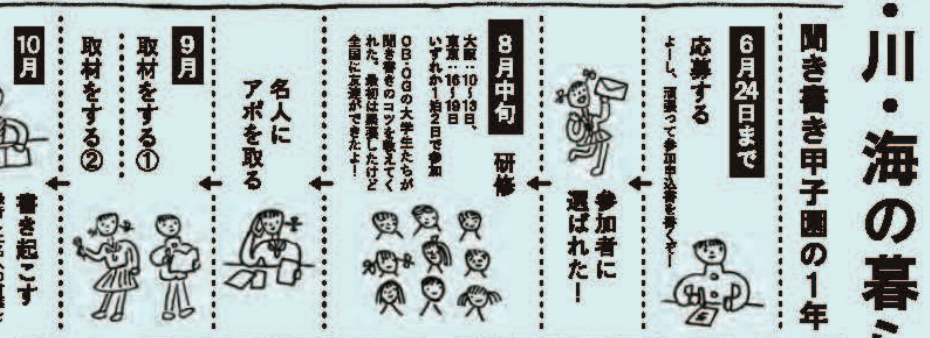
発行日：2021年5月



取材先は全国に広がる12の地域

20th 聞き書き甲子園

第20回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国12の地域で暮らす名人たち。その仕事は、橋、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？



名人のところにまた訪ねていきたいな。

聞き書き甲子園の1年

聞き書き技師

海のオールラウンダー
長い積み重ねの上にある今、
[編集：山形県白鷹町] 山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町

アワビと名人
サザエなんかであれば若い人もそれなりにとることができるけども、アワビにおいてはやっぱり技術。アワビだけは、目が良くてとれないし、腕力があってもとれない。まったくの技術なんです。特に夏のアワビは岩に同化して一番見にくいもんで、飛鳥でもとれる人少ないと思うよ。

漁師のほんとのすがた
それは名人そのものだった。漁師は一匹狼、先生もいなりや連人もいない。自分で考えてやって行く。それが、漁師のほんとのすがただ。技術つてものは、基本的なこと。先陣のもの全部見よう見まねでやって、あとは自分で覚える。あれしなさいこれしなさいっていう人の教えはつかり気にして、自分のやり方自分で考えられねえ。自分のやり方

参加者の

おそらく参加しなければ一生経験しなかつたであろう海の名人との1対1の対話は、これまでスマホの中で凝り固まっていた私の世界を、大きく押し広げてくれたように感じました。(宮城県Oさん)

聞き書きは人の思いを聞いたそのままだけでも強に伝わって来たりする。そして伝えることができれば、そして名人が語り掛けるかのような話る人に、見る人に寄り添った文章にすることが出来ます。(福井県Hさん)

自然と共に暮らししている名人は、とてもかっこよくて、楽しそう、私の「深じや」と言ってもらえたことは一生の宝物です。(北海道Tさん)

集まれ、高校生。

〔募集内容〕参加資格：高校生 ●募集人数：88人 ●参加条件：事前研修に参加できること ●また、聞き書き作品を期日までに提出すること ●参加費：無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法：加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。

動物と共存できる未来へ

喜びと苦労は表裏
私は最初から山や森づくりの知識を身に付けてきたわけじゃない。だから、熊や山と山に行き、熊や山の言う通りにスギとヒノキばかり植えてたね。それから色々動物を飼ったり、苗木を作ることも覚えた。そして、熊より先にカヤの木を買って、これから先の森づくりは山の木をいっぱい売るんやなくて、2、3本売ったら1年の生活費があるような森づくりをするんよ。って言ったんよ。

(サカキとかシムバ)もう30年くらい前かな、私が考えたのは、ちょっと植えたんじや駄目。植える量を増や

でもんを研究しなかつたら、ぜえつたいに成長していかないよ。
[編集：山形県白鷹町] 山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町

動物との共存と環境の変化
あとは全ての動物と共存せよならん。でもそれはやっぱり大変なことよ。どのくらい共存できるのかはわからない。でも植林をすればたから動物の食べるものが無くなったとは一概には言えないと思う。確かに奥山の方まで植林するのは水が起きたりもするし良くないと思う。そういうことを考えたら山の上まで植林をするのはよさそう。山裡でもさ、何でもええから山の上の方に実をいっぱいつける木を植えた。動物が里に出てくるのは、少しは変わると思う。

人間も獣と二人連れやからやってしまふよな。もう少し知識を働かさないやいけん。人間が自分ばかりのこと考えてもなかなか良いことない。

署名：山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町

ファミリーマートは、
「夢の掛け橋基金」を通じて、
この活動を支えています。

ファミリーマートは、2006年より店頭基金「ファミリーマート夢の掛け橋基金」を通じて、こともちろん地球に豊かな未来を築くための活動をNGO/NPOと取り組んでいます。国内ファミリーマート全店で実施している店頭基金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と併せて各団体へ寄付されています。その一部が公益財団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に投入されています。

すんよ。ポット苗は植えたら100%ついでついてもええんらい木が枯れずに育つ。でも上すく雨が降ってくれにやあね。山だつて右から左に傾かるもんじやないんよ。

動物との共存と環境の変化
あとは全ての動物と共存せよならん。でもそれはやっぱり大変なことよ。どのくらい共存できるのかはわからない。でも植林をすればたから動物の食べるものが無くなったとは一概には言えないと思う。確かに奥山の方まで植林するのは水が起きたりもするし良くないと思う。そういうことを考えたら山の上まで植林をするのはよさそう。山裡でもさ、何でもええから山の上の方に実をいっぱいつける木を植えた。動物が里に出てくるのは、少しは変わると思う。

人間も獣と二人連れやからやってしまふよな。もう少し知識を働かさないやいけん。人間が自分ばかりのこと考えてもなかなか良いことない。

署名：山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町 山形県白鷹町